

# 子ども総合センターだより

あした

## 明日もしあわせ通信 (第77号) 令和4年11月号

### 子育て奮闘中のママ、しんどい時にはSOSを

ある保育士さんが結婚 10 年目にして子どもを授かり、育休を取って 7 か月の乳児の子育て中。やっと授かった嬉しさと保育のプロとして子育てを楽しんでいるかと思い「仕事と子育て、どっちが大変？」と聞くと、「仕事の方が楽。子育ては 24 時間でこんなに大変とは思わなかった」と即答。

電子レンジで温めた離乳食を取ろうとして、左腕で抱っこしている我が子が、熱くなった離乳食に手を伸ばし、指に深いやけど。

「床に子どもを置いて調理しないと危ないだろ」と夫に言われ、「抱っこ抱っこ泣かれ足にまとわりつかれることを思うと、つい抱っこしたままの方が楽だよ」と、母親の味方をしたくなる。

3 時間おきの授乳やおむつ替えで寝不足の次は、危険を理解できない子どもの環境づくり。

片づけてもきりのない子どもの玩具出し。離乳食では、一生懸命作ったものほど口にしない子。食事に時間がかかり、またすぐに次の食事時間。自我が始めると自分でやりたい欲求も増して、時間がかかり、ぐちゃぐちゃ。

可愛い様子を見ているだけの時間共有の私は癒されますが、その裏では母親の奮闘。



成長の時期によって子育ての内容が次々と変わり、クリアしては次の課題にトライ。根気強さと体力勝負。この間の子どもの脳重量は 400g(1 か月児)から 1,200g(4 歳児)と、劇的に増えます。子どもの成長には、大切な時期です。一人で抱え込まないで、笑顔で子どもと向き合えるゆとりの時間が育児をしている人には大切です。(1)

### 適応指導教室「はばたき」 「すみません」よりも「ありがとう」

子どもたちは部活動の先輩や顧問の先生、また学校の先生など目上の人から助けてもらったとき、ついつい「すみません」と言ってしまいます。なぜでしょう。

「すみません」の謝りの気持ちや「ありがとうございます」の感謝の気持ち、どちらも間違っていないと思います。しかし、助けてもらったのだから「すみません」ではなく「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝える方が良いのではないのでしょうか。言われる側も「すみません」と言われると。「何か余計なことを言ったかな。」とってしまう事もあります。

「ありがとうございます」と言われると、言われた方もさわやかで気持ちもいいのではないのでしょうか。

何よりも「ありがとう」と言われると両方から笑顔が生まれます。

はばたき教室でも助けてもらったときには「ありがとう」と感謝の言葉を伝えるように心がけています。皆さんも、言ってみませんか。感謝の気持ちをこめて「ありがとう」と・・・。



はばたき教室のTEL 089-989-5022 直通の携帯 080-2974-4581

## Q 太郎日記

わが家の隣に Q 太郎という従妹の子どもがいる。現在小学 6 年生。彼の成長を紹介したい。

4 歳の頃、犬の散歩をしたいのに、引っ張られて転んで泣いていた。そこで考えた。大きな段ボール箱に犬の顔を描き、ひもをつけてもらって、ザーザー音をたてながら散歩について来た。わが家へ来ては、空き箱を使っているいろいろなものを作るようになった。発想が豊かで、よくしゃべる Q 太郎、成長が楽しみだ。

小学 1 年の時、児童クラブの先生から、「Q 太郎君は宿題をしないんですが。」「えっ、みんなが宿題をしているのに、遊んでいるんですか?」「いいえ、ノートを出して、宿題をしているフリをしています。」母親にこのことを伝えると、児童クラブでは宿題をさせてもらえないのだと思っていたと言う。今思うに、彼は、宿題の意味がわからなかったのだろう。その後、ハンカチ、靴下、セーターなど、何でも体から離れたものは持って帰らない。学校でもらった手紙も持って帰らない。机の中に一杯押し込んだまま。時間割を合わすことはせず、全教科カバンに押し込んで登校していた。

5 年生の Q 太郎はゲームにはまり、Wi-Fi を求めてわが家へ来る。制限時間を守らず、大声を出して熱中している。今のゲームは、友だちとネットでつながり、分からないことを教えてもらっていた。それは、すごいと思う。6 年生になった今年の夏休み、エアコンを 20 度にしてゲームに夢中。「手伝いせよ」と言う。「30 分だけ」と答える。手伝いは 30 分以内、ゲームは 3 時間以上の毎日。宿題は計画通りできよるという割には最後の 3 日間、ほぼ寝ないで仕上げた。そして言った。「夏休み中に宿題が済んだのは初めてだ。」と。

こんな Q 太郎にもいいところはある。90 歳の祖母をいたわり、優しい声掛けをする。腕の悪い祖母に「リハビリだから、肉焼いて。」「ばあちゃんの卵焼きはめっちゃおいしい。今日も焼いてよ。」と。今、子育て中のお母さん、思い通りにはいかないもの。Q 太郎の話に元気が出ましたか? (T,T)



## センター長のつぶやき

### 思い出の歌 (1) H<sub>2</sub>O「思い出がいっぱい」

以前、生涯で 1 度だけ、3 年間持ち上がった子たち (234 人) の話をしたが、その子たちとの思い出の歌である。

卒業式の練習が始まる頃、女子数人がやってきた。『ドイジー、卒業式で H<sub>2</sub>O の「思い出がいっぱい」歌いたい』とのこと。「蛍の光」が当たり前だった頃のことである。どのくらいの子がそう思っているのと聞くと、署名を集めるとのこと。数日後、殆どの子が署名したものを持ってきた。学年の先生も賛成してくれ、職員会で了承を得て練習が始まった。

自分たちが選んだ曲だからと皆真剣に取り組んでくれた。

練習の姿からも、この子たちと過ごした 3 年間を想い、涙が込み上げてくる。



はたして卒業式当日 (H5.3.17)。皆涙をぬぐいもせず、大きな声で歌おうと必死で頑張ってくれた。愛しい。先生方も同じであった。

苦勞を掛けてくれた子たち、思い出をいっぱいくれた子たちだからこそ一層別れはつらい。この歌を聴くたびにあの黄金の日々を思い出す。

現在も多くの子たちとつながっていて会うことも多い。皆長生きをして、幸せでいて欲しいと願うばかりである。(DOIG)



## がんばったね、運動会

9 月に入ると多くの園では運動会の練習に勤んでいました。年長、年中さんたちは先生の指示でピシッとドヤ顔&決めポーズ! さすがです。小さい子たちのお手本を示していました。年少、未満児さんたちも先生に手を引かれながら頑張っ

て練習していました。ある子は、私のところに走って来て両手で「だっこ!」のポーズ。あれあれ? 先生を間違えているかも? なんと可愛らしい姿に癒されました。一度きりの本番ですから、練習の成果が十分に発揮できないことが往々にしてあるものです。

お子様の普段の頑張りや努力は先生方がよくご存じですので、おらかな気持ちでお子様を見守ってくださいね。(K)



## 伊予市子ども総合センター

〒799-3127 伊予市尾崎 3-1

(伊予市総合保健福祉センター 2 階)

☎989-6226

